2017年6月吉日

公益社団法人　日本小児科医会
会長　　松平 隆光　先生　御机下

日本先天異常学会
理事長　大谷　浩

神経管閉鎖障害に関する声明文の送付について

拝啓　平素よりご高配賜り、厚く御礼申し上げます。

日本先天異常学会では、未だ本邦で低減しない神経管閉鎖障害の発症率に対して、平成28年度より取り組みを開始いたしました。その一環として、妊娠を計画する女性と妊娠が考えられる女性の葉酸サプリメント摂取による発症リスクの低減について、別紙の声明文を作成し公表いたしました。

ご多忙中のところ大変恐縮ではございますが、ご査収のうえ、貴会の会員および関係者の皆様への周知を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

私どもは、先天異常の発症リスクを低減する活動により、国民の健康と福祉に貢献したいと願っております。今後とも、上記活動へのご理解とご協力を賜りますよう、併せてお願い申し上げます。

敬具

【連絡先】
日本先天異常学会事務局
〒612-8082　京都市伏見区両替町2-348-302
TEL：075-468-8772　FAX：075-468-8773
E=mail：jts@ac-square.co.jp

日本先天異常学会からのメッセージ

葉酸サプリメントの摂取により神経管閉鎖障害の発症リスクを減らしましょう

日本先天異常学会は、神経管閉鎖障害（脳や脊髄の生まれつきの障害）の発症リスクを低減するために次のメッセージを発信します。

妊娠を計画している女性、または妊娠中と考えられる女性が、妊娠前4週から妊娠12週までの期間、葉酸サプリメントによって毎日葉酸を 400 マイクログラム ＝0.4 mgを摂取すると、お子さんに神経管閉鎖障害が起きるリスクが低下します。また、ご家族の中に神経管閉鎖障害患者を持つ方、あるいは過去に神経管閉鎖障害を持つお子さんを妊娠した経験がある方は、ハイリスク群と判断されます（神経管閉鎖障害を持つ児を妊娠する可能性が比較的高い）。ハイリスク群の方は、医師の管理下での葉酸摂取が必要となりますので、医療機関に相談してください。

神経管閉鎖障害（二分脊椎、無脳症、脳瘤）は、妊娠6週頃（受精後4週頃）に発症し、脳と脊髄の働きを障害します。このうち二分脊椎は、多くが出生後に治療を必要とします。出生後早期の背中の手術治療のほか、水頭症、歩行障害、排泄障害などの治療、生涯にわたるリハビリテーションが必要になることがあります。また、無脳症は生まれても生命の維持が難しく、脳瘤では瘤を取る手術をしても神経学的障害が残る可能性があります。

神経管閉鎖障害は、妊娠前及び妊娠早期に水溶性ビタミンの1種である葉酸を摂取することにより発症リスクが低減することが疫学研究によって示されている先天異常です。（1）。英国での臨床研究で、過去に神経管閉鎖障害を持つ児を妊娠したハイリスク群の女性に葉酸 4 mg/日を投与したところ、次の子どもでの再発防止効果が72%にのぼることが明らかになりました。1999 年には、初産婦が葉酸サプリメント0.4 mg/日を摂取することによって、同様の予防効果が見られたとの、中国での研究結果が報告されました（2）。

わが国においては、2000 年に厚生省（現厚生労働省）から、妊娠を計画する女性が、栄養バランスの取れた食事（葉酸量0.4 mg/日）に加えて栄養補助食品から0.4 mg/日の葉酸を摂取することによって神経管閉鎖障害の発症リスクを下げられるとする通知が出されました（3）。1日の葉酸摂取量が1 mg程度（体重55kgとした場合）であれば、過剰摂取とはなりません（4）。しかし、現在わが国の妊娠女性の葉酸サプリメントの摂取率は10-20%に留まり（5、6）、神経管閉鎖障害の発生率は低下していません（3、7）。

日本先天異常学会は、先天異常の発症を予防するための活動を行い、国民の健康と福祉に貢献いたします。

参考

1. MRC vitamin study research group. Lancet 1991. 338:131-137.

2. Berry et al. New England Journal of Medicine 1999. 341: 1485-1490.

3. 厚生省通達・児母第72号、平成12年12月
http://www1.mhlw.go.jp/houdou/1212/h1228-1_18.html

4. 厚生労働省　日本人の食事摂取基準（2015年版）、2014年

5. Kondo et al. Birth Defects Research (Part A) 2013. 97:610-615.

6. Obara et al. The Journal of Maternal-Fetal & Neonatal Medicine 2016.
DOI:10.1080/14767058. 2016.1179273

7. ICBDSR Annual Report 2014 with data for 2012
http://www.icbdsr.org/filebank/documents/ar2005/Report2014.pdf